

(様式3)

令和3年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	中央児童センター	所在地	伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター3階
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	・児童に遊びを与え、その集団的及び個別的指導を行うこと ・運動を主とした遊びを通じて、運動に親しむ習慣の形成、仕方、技能の習得等の指導を行うこと ・子ども会、親子会等地域組織活動の育成助長を行うこと ・その他児童の健全育成に必要な事業を行うこと		
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 3階(940.63㎡) 遊戯室、工作室、事務室、集会室、図書コーナー、会議室、資材室 等		
職員体制	センター長 1名(兼務) 児童の遊びを指導する者 4名		
施設所管課名	子育て応援課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	9,913,000	9,921,000	10,074,000	153,000
	利用料金	20,300	56,500	78,500	22,000
	その他	187,016	499,914	300,000	△ 199,914
	計(a)	10,120,316	10,477,414	10,452,500	△ 24,914
	支出				
	人件費	7,380,951	6,495,410	6,474,116	△ 21,294
	管理運営費	1,136,273	1,365,958	1,108,422	△ 257,536
その他	247,445	0	174,240	174,240	
計(b)	8,764,669	7,861,368	7,756,778	△ 104,590	
収支差引額(a)-(b)		1,355,647	2,616,046	2,695,722	79,676

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	収入:その他コロナウイルス感染症対応に関する補助金の減 支出:管理運営費(消耗品費)の減
----------------------------------	---

3 評価（別表様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
<p>新型コロナウイルス感染防止対策のため、8月25日～9月30日まで臨時休館となったことや、まん延防止等重点措置の適用に伴い8月20日～8月24日までと1月21日～3月6日まで行事が中止になったが、昨年引き続き来館者のマスクの着用や消毒、検温の徹底や来館者が多くても安心できるよう、窓はいつも開け空気の流通をこころがけるようにしている事や今年度は室内専用オゾン発生装置を集会室に設置し、細かい玩具の消毒が可能になり、利用者にも安心して利用できるとの声をいただいていることにより、来館者数が1,681人増となった。</p> <p>コロナ禍において、昨年に引き続き、飲食を伴う行事や集客の見込まれる行事やレスパイトケア目的の託児付の行事は開催せず、人気のある行事においては、人数を2回に分けて開催した。また子ども達が毎日楽しめるように、せいさくコーナーをより一新して毎日工作を楽しめるようにした。</p> <p>人が多く集まる場所には行かないように注意されている中、小中学生も友達同士や一人で来館し、昨年度より来館数が増えた。</p> <p>また子どもボランティア活動は、就労支援施設や健幸倶楽部との交流や、伊勢市ボランティアセンターとの共催で、環境美化活動を行うなど、地域との交流に努めた。</p>	<p>施設の管理については適正に行われていた。</p> <p>運営については、新型コロナウイルス感染対策により活動の制限が進んでしまったが、その中でもできることを模索し、利用者や保護者から好評を得ていること、感染対策に取り組み、新しい行事に取り組んだことは評価できる。</p> <p>また、他施設、他団体と連携し、地域との交流を積極的に実施していることも共生社会の実現に大きく貢献できるため、引き続き事業の実施を期待する。</p> <p>今後も様々な取り組みを継続していただき、保護者アンケート等により質の高いサービスが提供できるようお願いしたい。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

中央児童センター

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	平日朝礼での各部所の当日の予定、および所長による注意喚起により施設の目的や基本方針の理解はできている。	A	施設の目的や基本方針を定例的にとめなおすなど、日々の業務にも理解の程が見受けられた。	
	②施設設置目的の達成度	A	施設の設置目的である「児童健全育成」を念頭に置き、注意喚起および行事内容等も考慮して業務を行った。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。	
	③利用者数	A	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、8月20日～9月30日まで臨時休館となったり、まん延防止等重点措置の適応に伴い8月20日～8月24日、1月21日～3月6日まで行事が中止になったが、利用者は昨年より1,681人増となった。	A	新型コロナウイルス感染症による閉館等により活動が制限され、また、利用者側の自粛もあり、利用者が減ったと考えられる。今後しばらくは一定の対策を講じながらの活動となるため、イベント等は注意していただきたい。	
	④運営状況	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館とした日以外は、伊勢市児童館条例に基づき開館運営を行った。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	職員の業務分担および行事内容など、細かに明記し、センター長を中心に職員同士協力しながら職務を遂行した。	
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	現場から管理責任者への報告は密に行われ、市への報告は直接電話または、メールで行っている。	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	毎月の行事計画、修繕、破棄、点検、事故などの記録は適切に行い、整理し保管した。	
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	子どもボランティア活動において、就労支援施設ひまわりや健康倶楽部つどいとの交流を行った。伊勢市ボランティアセンターと伊勢市女性団体連絡協議会との共催で昨年に引き続き、環境美化活動を行った。また子どもボランティアや子どもボランティア以外の子どもたちにも募集をかけ、今年度初めて、コーヒーの店スマイルで販売や接客の体験をした。	
	⑨使用許可等	—	—	—	—	
	⑩利用料金等の徴収状況	—	—	—	—	
	⑪個人情報	A	A	コロナ禍において、来館者には、昨年に引き続き、一度住所・氏名・生年月日など詳細に記入してもらうこととし、情報が漏洩しない様、より一層管理に気を付け鍵のかかる場所に保管した。	A	個人情報漏洩などの問題は発生しておらず、情報流出に努めている。
	⑫法令遵守	A	A	各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

中央児童センター

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	利用者増につながるよう、行事を精査しコロナ禍における人数制限や回数を分けるなどして行事の企画に取り組んだ。	A	イベント内容のみでなく、想定される利用対象者に合わせた開催スケジュールを構築し、利用者数の増加に努めた。		
	②利用者の平等な利用	A	利用者への対応については、職員間で差が出ないよう細かく基本ルールを決めている。また、臨機応変な対応についても、その後必ず報告し合い平等なサービスを心がけた。	A	サービス水準については、常に利用者目線に立ち、さまざまな企画を上げ、実施した。		
	③適切な情報提供	A	情報提供については、来館者へ直接声掛けをしたり、市の情報コーナー・社協HPへの掲載、児童センターだよりの配布、マ・メール配信、児童センター内での掲示で周知を図り、できる限り利用者が情報を得るように努めた。	A	掲示物やチラシなどの作成の際、見易さ・分かりやすさも視点に入れ、効果的な情報提供をしている。		
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時マニュアルを準備し対応している。また月1回の避難訓練を実施し利用者、職員共に緊急時に備えている。事故発生についても、職員間の対応や上司、市への報告など適切に行っている。	A	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に規定のある「月1回の非常時の訓練」も、毎月テーマを決めて、適切に行われていた。		
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見・苦情については、できる限り迅速かつ適切に対応するよう心がけている。事故等については、予防策や安全確保など常に気を配って対処している。		
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	毎年行われる満足度調査に基づいて、できる限り利用者のニーズに応えるよう行事等を企画した。今年度は、コロナ禍で活動の自粛があったが、子どもボランティアやその他行事について、利用者の満足を得るよう関係各所と連携してできる限りの活動を行った。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限されていたが、多岐にわたる事業を実施し、利用ニーズに応えている。今後も引き続きコロナ禍における事業を検討し、今後も一定程度の対策をしながら遂行していただきたい。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	行事開催後には、かならず振り返り、良かった点・気を付ける点など記載し、月1回のミーティングで話し合い、次年度につなげるように努めている。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	年1回、業者による遊具点検、月1回職員による点検を実施し、遊具の安全管理を行っている。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	職員が備品や遊具の点検を行い、備品台帳で管理している。また壊れた玩具はおもちゃの病院(ボランティア)に連絡し直してもらったり、年1回の業者による遊具保守点検を実施している。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに職員による処置を行っている。また職員の修理では無理な場合、使用禁止の貼り紙や口頭での注意をし、業者に修繕依頼をし内容を記録している。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	月～金曜日、祝日は清掃会社に依頼、土日は職員が清掃を行い清潔を保っている。今年度は、コロナ禍において、消毒作業を行い、絶えず衛生面には気を配り、時間をかけて行った。	A	コロナ禍において清掃・消毒作業が常態化しているが、毎日実施し、利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は決められた場所に保管し、閉館後は事務所に返却している。戸締りは、職員が2重に確認し、閉め忘れがないよう心掛けた。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。